

新聞社主催の進路ガイダンスで自衛隊をPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之^一等陸佐）は、6月6日（火）、ツインメッセ（静岡市）で開催された、静岡新聞社主催の進路ガイダンス「静岡でえがく未来・Futureしずおか」に参加した。

このイベントは、県内の高校生等を対象に大学や専門学校への進学相談の他、就職を希望する生徒に対して仕事に関する説明も併せて行われた。当日は県内各地から大型バスで来場する学校もあり、会場は自分の進路について少しでも参考になるものを得ようと多くの生徒で賑わった。

就職希望者のための仕事説明ブースは、自衛隊や県内の企業等10の団体が参加し、それぞれが特色をもって仕事内容や魅力等を説明した。訪れた生徒は2年生も多く、自らの将来を見据え、真剣に進路選択に臨んでいる様子が窺えた。

また、イベントの途中には参加企業等の代表が司会者の質問に答えていく「リレートーク」がステージで行われ、静岡地本からも静岡募集案内所長の谷本^一等海尉が「なぜ今の仕事を選んだのか」や「今の仕事のやりがいについて」等の質問に経験談を交えて丁寧に答えると、生徒達はその内容に真剣に聞き入っていた。

静岡地本は、今後もさまざまなガイダンスを通じて自衛隊の魅力を伝え、組織への関心を高めてもらうとともに、自衛官として働くことのやりがいを最大限発信していく。

「未来授業」で中学生に魅力を伝える



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之^一等陸佐）は、6月9日（金）、磐田市立豊田中学校で行われた「未来授業」に講師として参加した。

未来授業とは、一般社団法人「未来学校」が企画する「大人と子供が働くことについて語り合う」をテーマに授業を行うもので、様々な職種の人から話を聞き、子供が将来の夢や可能性を広げることが目的に行われている。

当日は、整体師やグラフィックデザイナー等26人の講師が集まり、約1時間の授業を2回、それぞれ講師1人に4、5人の生徒が参加する形で行われ、静岡地本からも広報官が自衛隊の講師として参加した。

授業では、最初に名刺交換を行い、その後戦車等の装備品や国内外で活躍する自衛隊の活動写真をパソコンに映しながら、任務や自衛官としてのやりがい等についてわかりやすく丁寧に説明した。

生徒達は、開始当初は緊張した様子であったが、広報官の明るくわかり易い授業に徐々に打ち解けた様子で「日本という国を守る仕事は、改めてすごいと思った」「陸海空という括りだけでなく、思っていたよりも多くの職種に分かれています」とも驚いた^一等の感想があり、自衛隊に対する関心や理解を深めたようであった。

静岡地本は、今後も地域の各中学校と連携し、将来のある若者に自衛隊に対する正しい理解を深めてもらう機会を積極的に設け、より多くの志願者を獲得出来るよう広報活動に努めていく。